

## 取組の概要

取組の概要 : 施設園芸を活用した生産力の強化  
計画作成主体 : 京都市地域農業再生協議会  
対象品目 : トマト  
(産地面積 : 1.2ha (都市近郊地域))  
主な取組主体 : 上賀茂養液研究会  
成果目標 : 10a 当たり販売額の10%以上の増加  
助成金の活用 : 整備事業 (生産技術高度化施設)  
状況

## ポイント

既存のトマト養液栽培施設に加え、新たに低コスト耐候性ハウスを導入し、養液栽培トマトの生産力の強化を図る。  
さらに、ブランド化を図り、有利販売を実現することで、10a 当たり販売額の10%以上の増加を実現。

## 地区の概要



京都府  
京都市  
北区・左京区

## 産地の現状と目標

〈現状: H25~27年度平均〉

作付面積: 1.0ha (出荷数量: 181t)  
10a 当たり収量: 18t / 10a  
10a 当たり販売額: 668万円

〈目標: H30年度〉

作付面積: 1.2ha (出荷数量: 281t)  
10a 当たり収量: 22t / 10a  
10a 当たり販売額: 868万円



## 推進体制

地域の関係者(京都市、京都乙訓農業改良普及センター、京都市農業協同組合、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

○ 通年出荷を目指したトマト養液栽培の実践、先進地視察研修等を実施。

〈府・市町村単独事業〉

○ 京都府「京野菜生産加速化事業」を活用して、生産効率の向上を目指す。

## 事業効果

- 施設園芸を活用した生産力の強化  
低コスト耐候性ハウスの導入により、  
トマトの生産力の強化、安定生産を実現。  
生産力の強化により販売額が増加し、  
京都市北区・左京区の産地強化を実現。

～トマトの販売額～  
(10a 当たり)

